

# 今月の「輝き！」さん

No. 104



## 橋建設株式会社 つだともき 津田智紀さん

所属：工事部  
 経験年数：1年7カ月  
 年齢：27歳

金沢市平和町の現場事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

当社は、本年2月に創業52年を迎え、「社員ファーストで全ての人々がウエルビーイングに！」のスローガンに取り組んでいる総合建設会社です。私は、工事に所属し、建築施工管理担当として頑張っています。

—建設業を選んだ理由、入社の一動機等について教えてください。

県外の大学を卒業して大手電機メーカー代理店に就職し営業として勤めましたが、あまり仕事にやりがいを見出せず転職を考え始めました。いずれは地元の石川県に帰るつもりでいましたし、父の勧めもあり思い切って父が勤める橋建設に転職を決めました。

—実際に建設業界に入っていかがでしたか。

僕は文系出身で、建設業に対して正直、苦手意識がありました。いざ入社してみると、ゼロから何かを生み出す仕事であり大変魅力を感じました。気になっていた3Kも多少のキツさは感じましたが、汚い・危険については言われているほどじゃないなと思いました。繁忙期には休日出勤もありますが、週休二日や代

休などで意外に休みも多いです。専門用語も覚えれば理解できますし技術や機械もどんどん進歩していますから、建設業に転職して良い意味でのギャップを感じました。当社の先輩方は本当に楽しそうに仕事をしていて、現場も真剣な中にも和気あいあいとした雰囲気があり、「本当に仕事が好きなんだな。」という感じがひしひしと伝わってくるフレンドリーな会社です。

—仕事での苦労やそのために努力していることはありますか？

今、児童施設の新築工事現場に出て、職人さんの段取りや指示出し、写真撮影や環境整理等をしていますが、あらためて仕事の難しさや現場所長の大変さを実感し、日々、自分で先に考えて準備するよう努めています。上司の言葉で「職人さんは自分たちができないことをしてくれている。」というのが心に残っていて、見ているだけ、指示を出すだけではなく、主体性を持って積極的に関わっていくことの大切さを教えていただきました。最初はうまく指示出しができず申し訳ない気持ちと悔しさを思い知りましたので、今はとにかく自分ができることを色々と考えて、常に職人さんが力を発揮できる環境づくりを心掛けています。

—これまでで思い出に残る現場はありますか？

入社して関わった最初の現場で、田んぼに囲まれた殺風景な場所に工場が建ち上がった姿を見て、自分が建てたわけではないのですがこのうえない達成感を感じました。今の現場は、1年目と違い所長が不在の時には一人で任される機会が多くなり、住宅地での工事ですから周辺への配慮や駐車場確保などの苦労が多いですが、責任とやりがいを実感できる現場です。

—休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

近県への旅行や友人との食事、ゴルフやスノーボードを楽しんでいます。小・中・高と学生時代は、部活動でバスケットボールをやっていました。

大学時代に約1年間マレーシアに留学し、ヨーロッパや東南アジアなど14か国を旅行したので、将来、5大陸世界旅行に行ってみたくと思っています。

—将来の夢、目標は？

5年後を目標に先輩・上司の補助なく立ち立てることを目指しており、今は、11月に行われる「2級建築施工管理技士試験」の合格を目指して勉強中です。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

他の業種に比べると、体力的・精神的に大変というイメージがあり、僕もそう感じていましたが、とにかく自らの腕と知恵で何もない所に建物が完成したときの大きな達成感をぜひ味わってほしいと思います。文系の私ですが思い切って転職した結果、日々やりがいを持って頑張っています。ぜひチャレンジしていただき、一緒に現場で仕事ができれば嬉しいです。橋建設で待っています！